

中期経営計画

電子部品の需要増加を追い風に、成長を実現

基本的な施策



注力すべき市場の拡大

市場の伸びの著しい自動車、情報インフラ向けなど 注力市場の売上構成比を50%にまで拡大させる



将来の成長のための投資

5G時代の到来などで、MLCCの需要が爆発的に増加するのに備え、2019年3月期～2021年3月期で1,500億円の設備投資を実施する



モノづくりの進化

製造現場を中心とする生産性改善プロジェクト「smart.E」を遂行し、IoTとビッグデータを駆使してムダ・ムラ・ムリをなくし、モノづくりを大きく進化させる

株主還元



配当の安定的な増加に努めることを基本として、自己株式の取得等も含めた 総還元性向30%の実現を目指す

計画の進捗

2018年 3月期

売上高**2,441**億円、営業利益率**8.3%**、ROE**10.1%** (目標値10%を達成)

- 注力すべき市場(自動車、情報インフラ・産業機器)の売上構成比32%。
- 設備投資額245億円。積層セラミックコンデンサの生産能力を前年比+10-15%増強。
- 「smart.E」プロジェクト2年目。生産設備や人の見える化によって一部の工程で30%程度の生産性向上。

2019年 3月期

売上高**2,743**億円、営業利益率**12.8%** (目標値10%を達成)、ROE**12.6%** (目標値10%を達成)
営業利益率の目標値を**15%**に上方修正

- 注力すべき市場の売上構成比39% (目標値38%を達成)。目標値を50%に上方修正。
- 2019年1月、自動車向け市場に強いエルナー株式会社を完全子会社化。
- 設備投資額385億円。積層セラミックコンデンサの生産能力を前年比+10-15%増強。
- 2018年12月、積層セラミックコンデンサの生産拠点である新潟太陽誘電の第3号棟竣工。
- 「smart.E」プロジェクト3年目。AIを活用した異常の早期発見と未然防止を展開。
- 2019年2月、約30億円の自己株式取得を実施。
- 2019年2月、期末配当予想を1株当たり10円→11円に上方修正 (年間配当20円→21円)。

2020年 3月期

売上高**2,823**億円、営業利益率**13.2%**、ROE**8.7%**

- 注力すべき市場の売上構成比41%。目標の50%に向けて拡大。
- 設備投資額393億円。積層セラミックコンデンサの生産能力を前年比+10-15%増強。
- 「smart.E」プロジェクト4年目。国内外の生産状況を一元監視、設備稼働ロス削減。
- 2019年6月、約40億円の自己株式取得を実施。
- 2020年2月、期末配当予想を1株当たり11円→15円に上方修正 (年間配当22円→26円)。

数値目標

売上高**3,000**億円 営業利益率**15%** ROE**10%**以上

※中期経営計画の達成：ターゲットは2021年3月期だが、新型コロナウイルス感染症などの影響により、目標の達成は次期以降となる見込み。